

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	子育て支援センター しらさぎキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業員評価実施期間	令和7年 2月 7日		～ 令和7年 2月 14日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の中で周りに合わせて行動することや人に意思を伝えることなどを経験し、幼稚園や保育園での生活にもつながるスキルを身につけることができること	基準より多い職員を配置し、子どもの発達や特性に合わせたサポートを行うことで落ち着いた過ごせたとという経験を積めるよう取り組んでいる	・研修等で職員のスキルアップ ・支援方法を振り返り、その時の子どもの状況に合わせた支援を考えていく
2	親子通園を通して“子どもの発達特性を理解する時期”の保護者の気持ちに寄り添ったり家庭生活や園生活の悩みに相談対応ができることや、子どもの困り感を共通認識しながら支援の方向を決めていくことができること	お父さんの様子と一緒に見ながら、その場でどのように関わったらよいか手立てを話すことで、家庭生活で活かされたり園に保護者の言葉で伝えられ、更には園生活でも活かしてもらえよう意識して伝えている	・職員のスキルアップ ・その時の子どもの状況に合わせた支援を考えると同時に保護者の気持ちの変化や揺らぎに気づき配慮する
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	単独通園になると保護者と対話する時間が短くなってしまふこと	・親子通園の間は困りごとをその都度聞きながらお話しする時間がとれているが、単独通園になると保護者と話をする時間が送迎時のみになるなど時間的な課題の要因 ・日々の記録や書類などが多いという業務負担の課題	・書類や記録を簡素化し、子どもと関わる時間や保護者と対面する時間にゆとりをもって対応し、保護者から話しかけやすい雰囲気づくりができるよう業務を見直す
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子育て支援センター しらさぎキッズ

公表日 令和 7年 3月 27日

利用児童数 令和 7年 2月 7日

回収数 20

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0	広くはないが、十分なスペースがあると思う その日の参加人数によっては「十分」とは言いえない場合もあると思う	特に親子通園では人数が多くなるとスペースが狭くなり距離も近く活動中の機嫌の配慮を考えた時、状況に応じて隣の部屋も使いながら活動していきたいと思っています
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	0	子どもの様子が見えたり見られる配置だと思 子ども同士でけんかがあった時もちきんと対応してくれる 余裕をもった先生の人数が確保されていると思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3	0	1	伝達は併付けしやすいうに分類されている バリアフリーでない所もあるが、世の中にもそうでない所があるの で、学校生活などに向けて、気を付けて歩くという練習になるのでは ないかと思う	建物や物の為、ご不便をおかけしています。バリアフリーについては可能な限り対応して安全に気をつけていきたいと思っています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	整理整頓されている きれいに掃除されていると思う	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	設定保育では子どもに合わせた遊びが用意されている 声掛け一つでもタイミングや広さを職員が工夫しているところがある 普段からしっかりと子どもの様子を見てもらえていると思う	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	1	子どもも楽しそうに参加している その子に応じた声掛けや対応がされていると思う	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	その時の課題点を共有し、一緒に計画の中身を考えてくれる 保護者の困っていることなど、相談ののってくれる	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	1	季節に合わせたイベント（祭り・もちつき）があり、家で経験できないプログラムで動いている 色々なプログラムがあり、配慮された（目的も）充実していると思います	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	3	6	参加したことがない	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0	定期的にしっかりと説明があった	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	0	0	小学生以上のお子さんの保護者ペアレントメンターさんとの交流の機会を作っていてほしい（就学から充つたことを知りたいため 研修会はまだ参加したことがないため	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0	園での様子など、気軽に相談できるような、職員の接し方や雰囲気があり、とても話しやすく助かる 園の行事での子ども達の様子を共有し、適切なアドバイスをもらえず子どもの成長を感じることができなくなった 相談すると、きちんとした意見が返ってくる	今後とも家族と連携を取りながら支援を進めていきたいと思っています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	1	面談はあまりないが、子どもと関わりながら相談ののってくれる 気軽に相談できる環境がつけられていると思う	計画の見直し時期に個別にお話を伺うようにはしていますが、その時以外にも相談のご希望があれば時間を調整させていただきますので遠慮なくお申し出ください
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	0	5	まだ交流会は参加したことがない 普段からのお迎えの時に他の保護者の方と話す機会があります	保護者同士が気軽に話ができる場を考えていきたいと思っています
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	0	5	HPに評価表があったので拝見しました。他の方の意見を見ることができ、参考になりました 活動の全体的な様子が分かる定点カメラでよいので、子どもの様子を 見てみたい。（写真があるが、動画の方がよりわかる。話を聞いている が、想像だけなので、動画で見て、比較したい）	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	0			
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	5	0	2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	1		訓練実施の開始を徹底するように努めます
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	1	先生方が把握されている情報はしっかりと説明してもらっていると思う	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	嫌がることなく、リラックスした状態で通っている いつも楽しそうに遊んでいる お友だちとトラブルがあった後はビクビクしていたが、今は安心して通っている	これからも安心して楽し利用していただける事業所でありたいと思っています
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	少人数での集団活動なので、園よりしらさぎの方が子どもは良いみたい です 園庭の遊具の時も楽しそうだった 何をやるのかな？と毎回興味をもちながら参加している 友達に会えるのも楽しみたいです	
	29 事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	スモールステップですが、成長をここで感じられるので満足しています 満足している しらさぎに通うことができ良かったと思っています	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 子育て支援センター しらさぎキッズ

公表日 令和 7年 3月 27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	人数が多い時には距離が近くなりすぎてトラブルにならないように部屋を分けるなどして過ごそうとしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・遊ぶ場所と活動する場所を分けている ・つまづきやすい段差には段差部分が分かりやすいように黄色いテープを貼っている ・柱や敷居などのささくれが気になる箇所はすぐに補修している	危険と思われる所は気づいたらその都度補修、対策をしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	使ったおもちゃは毎日消毒をして清潔な状態を心掛けている	室内の温度調節（特に冬の寒い時期）にはこまめに気をつけるようにする
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンや落ち着くことが必要な場合は部屋を変えて対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	いつでも意見を言い合える雰囲気づくりをするよう心掛けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		今後、外部評価については検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	できるだけ職員全員が同じ知識を得られるように同じ研修が受けられるようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	必要に応じて心理士による発達検査を行い、アセスメントをとっている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管だけでなく、現場で主に関わっている保育士や児童指導員の話聞きながら共通理解をしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎月の活動予定を決める会議を職員全員参加で行い、詳しい内容や準備するものについても話し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節感も感じられ、利用している子どもそれぞれの特性や発達に合わせた活動内容になるようにしている	子どもたちの「楽しい」をより引き出せる活動を考えていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	主担当から全体の流れを聞き全員が共通認識をたううえで、どの部分でサポートが必要かを話し確認している	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・職員全員で気づきを話して情報を共有し、次の支援につなげるようにしている ・上手くいかなかったことは特にその日のうちになぜそうなったのか？どうすればよかったのかを話し合うようにしている		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	子どもの様子で特に気になる様子が見られた時には記録に残し、職員全員が目を通すようにしている		
23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	子どもや保護者の状況や支援に必要な情報を共有するなど連携に努めている		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	幼稚園・保育園との併用利用が多いので交流の機会を特別設けてはいないが行事はきょうだい児も一緒に参加できるようにしている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・お迎え時に必ずその日の状況を保護者と話す時間を設けている ・活動の様子を写真で伝えたり、出来るようになったことや今後の課題についてその都度話している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	発達についてや対応の方法などを学ぶ保護者勉強会を開催している	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		今後保護者の皆様が気軽に話さずることができる会を考えていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	子どもや保護者の困り感や悩みに可能なかたちで対応できるようにその都度考えて対応に努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		・月ごとの活動内容は知らせているがそれ以外のことはあまりできていないように感じる。 ・見落とされていることもあるので保護者への確実な伝達方法を考える必要がある。(例) 予定表を見やすく掲示するなど
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	職員全体で情報共有をし、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	園内研修を行い虐待防止について質向上に努めています	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	子育て支援センター しらさぎキッズ小郡		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 9日	～	令和 7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 38名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 7日	～	令和 7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子通園を軸に経験豊富な専門職員などの有資格者が、発達が気になる段階から早期にかかわり、様々な困り感に寄り添いながら親子関係を支えることができる。	・親子通園を行っているので、保護者に目の前のお子さんの様子を見ながらその場でどうしたらよいかの手立てを助言でき、関わりのモデルを知ってもらい家庭生活に活かしてもらうことを意識している。	・職員のスキルアップのため、研修等を充実させていく。 ・日々成長する子供たちに合わせた支援を行っていくために、支援の振り返りの機会を持つ。
2	・基準より多い職員配置で子どもの発達や特性に合わせたサポートを行っている。	・小集団の中で人に意志を伝えること、周りに合わせた行動がとれること、大人に助けを求める手段がわかることなど、幼稚園や保育園生活につながるスキルを子どもたちが身に着け社会参加ができるよう、意識し関わっている。	・職員のスキルアップのため、研修等を充実させていく。 ・日々成長する子供たちに合わせた支援を行っていくために、支援の振り返りの機会を持つ。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どものみの単独通園に移行した保護者との対話をする時間が、親子通園の時期と比べ短くなってしまふこと。	・親子通園の期間は、保護者と支援者が生活の中で困り事を大小に関わらず話す時間が作れるが、単独通園になり話す時間が送迎時のみになってしまうなど時間的な課題がある。	・送迎時に、時間が許す限り安全に配慮しつつお子さんの様子を聞く時間をもつ。 ・単独通園に移行したときに、送迎時以外の事業所への相談方法・受け付け時間を保護者へ再度周知を行う。(SNS等の活用など)
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子育て支援センターしらさぎキッズ小郡				公表日	令和7年 3月 27日	
		利用児童数				38名	回収数	28名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	1	0	・人数が多いと狭く感じる。	・年齢や活動種に合わせ療育室や屋外を活用しつつ、友達と近い空間の中で玩具の「共有」「共同」へと、人と関わる力を伸ばしていきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	0	1	0	・少し段差があるところがある。 ・活動と遊ぶ空間が別なので、子供がメリハリを持って過ごせる。	・建物内すべてがバリアフリーとはなっておりませんが、引き続きお子さまの特性に応じ、安全への配慮を行ってきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	0	0	0	・その場に応じた対応を下している。 ・日常生活上の困りごとや気になることなどに、子供の特性を踏まえた的確なアドバイスをいただいている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	0	0	0	28		・アンケートにお答えいただいた時点では公表準備中で、評価をいただく環境が整っておらず申し訳ありませんでした。HP上に公表されましたらご確認いただけると幸いです。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	28	0		・しらさぎキッズ小郡をご利用のお子さんは幼稚園・保育園との並行利用をされている方が多いので、改めて他の子どもとの交流の機会を持っておりません。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	27	1	0	0	・母子分離してから、家での様子や園での様子を共有する機会があまりなかった。	・親子通園の時に比べ、お話しする機会が送迎時のみと短くなり、保護者の方に話題の共有のしづらさを感じさせてしまっていることを課題と捉えています。時間の許す限りお話を伺う機会を作りたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	0	0	・先生方も忙しそうで、相談もしづらかった。	・相談しづらい雰囲気でお気を使わせてしまい申し訳なく思います。声を掛けていただきやすい体制づくりを心掛けます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	4	0	1		・きょうだい児の年齢が低いこともあり、きょうだい同士の交流は行っていませんが、行事と一緒に参加していただきながらきょうだいへの理解を支えるサポートを行っています。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	1	0	0		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	0			
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	0			

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故が母のいないところで発生していないためわかりません。</li> <li>・日々子どもの様子は良く伝えてくださっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万が一、事故（怪我）等が発生した時は、事故発生時対応マニュアルに沿って対応をとらせていただきます。</li> </ul>
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が大好きな場所なのでここに来るといつも嬉しそうにしている。</li> </ul>	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも駐車場からの園までの距離を走ってにこにこ登園しています。</li> <li>・いつも楽しく通わせてもらっています。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても信頼のおける先生ばかりで安心して子供を預けることが出来る。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子育て支援センター しらさぎキッズ小郡		公表日		令和 7年 3月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を順守した活動空間があり、十分に身体を動かすことができるように、活動スペースを確保しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令が必要とされている配置数を越えた職員配置で、サポートにあたらせていただいています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スケジュールの提示や環境の整理を行い、子どもにとってわかりやすく、集中しやすい空間づくりを心がけています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染症の予防もかねて、使用した玩具の消毒を毎日行い、清潔で気持ちよく過ごしていただけるよう心がけています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個別対応できる部屋や、衝立等で作った個別空間の使用ができる環境となっています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		年間計画と方針を全職員で検討する機会を持ったり、毎日のミーティングを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			アンケートでいただいた意見をしっかりと検討し、業務改善につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者機関での外部評価は行っていません。	今後必要に応じて、実施の検討していきたいと思えます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修や外部研修を行い、職員のスキルアップの機会をもっています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		自己評価を行った時点では、公表準備中でしたので「いいえ」で答えています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○					
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間に情報共有しやすい環境や関係性があり、その日の気づきや支援の振り返りなど密な情報交換をしています。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○					
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○					
その他	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○					
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○					
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の方のご要望があれば、幼稚園や保育園を訪問し、様子観察や情報共有を行っています。また積極的に園からの事業所訪問を受け入れ、支援の連携を図っています。	今後も、並行して進んでいるほかの福祉事業所や保育園、幼稚園等と情報を共有させていただき、より良い支援につなげていきたいと思えます。		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者を通して学校の先生等からの希望や依頼があれば情報共有を実施しています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○				
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。							
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○			ご利用のお子さんは幼稚園・保育園との並行利用をされている方が多く、改めて他の子どもとの交流の機会を持っておりません。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			親子通園時、単独通園の送迎時に保護者と顔を合わせご様子を伝え合ったり、困りごとの相談に応じています。	保護者が安心してゆっくりと相談できるような雰囲気づくりや、相談しやすい環境の設定を工夫しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			発達特性を学ぶ機会となるように保護者勉強会を開催したり、ご相談や療育の活動の中で子どもとの関わり方を個別に助言させていただいています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			定期的な相談対応は行っておりませんが、送迎時やSNSでの相談を随時受け、助言を行っています。	今後はさらに相談しやすい環境を作り、定期的に相談対応を実施していくことができるよう工夫をしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者勉強会や就学についての座談会などを開催しています。	きょうだい支援に関しては、きょうだい児の年齢が低いこともあり、行事と一緒に参加していただきながらきょうだいの理解を支えるサポートを行っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			できる限り迅速な対応に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月の予定表は紙媒体で発行し、その他にもSNSを活用し連絡・情報発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			非常時の安全計画については、マニュアルを作成し緊急時の避難訓練を実施しています。	昨今の災害の状況を鑑み、より具体的な訓練・準備を行っていきたくと考えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止委員会の設置、研修会等を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○					

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育て支援センターしらさぎキッズ小郡		
○保護者評価実施期間	令和7年1月9日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年2月7日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月4日		～ 令和7年2月4日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・所属園と相互に話しやすい関係を築けていること。	・担任の先生と加配の先生にお伝えする支援方法を園長や主任の先生にも伝えることで、園の理解・協力を得ていること。	・所属園に、受け入れて「良かった」と思ってもらえるよう支援方法の導入のサポートを行う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・新規問い合わせのすべてのニーズに対応できていないこと。	・訪問支援員が他の事業と兼務で配置をしているため多く受けることが難しい。	・人員を増やすこと。 ・人材育成を行うこと。
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		子育て支援センター しらさぎキッズ小郡				公表日	令和7年 3月 27日	
						利用児童数	1	回収数
								1
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	1	0	0	0		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1	0	0	0		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	0		
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	0	0	0	1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名		公表日				
子育て支援センター しらさぎキッズ小郡		令和 7年 3月 27日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	0	0	・適切に助言していただき、保育に生かさせていただいています	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	0	0	・具体的な支援の仕方を示していただきわかりやすいです	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	0	0	・今後ともお願いします	
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	0	0		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		子育て支援センター しらさぎキッズ小郡		公表日		令和7年 3月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 整 運 備 ・ 管 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	0			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	0			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	0			
	19	定期的な保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	0			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0			
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0			

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	1		
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	0	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0		